

地震による火災を未然に防ぐ！通電火災対策

米子市 感震ブレーカー設置事業費補助金

設備費用の
最大 2/3 または
下記の上限額を補助

重要なお知らせ

必ず機器の購入・工事前に事前申請を行ってください。
※事前申請を行わずに購入・設置工事を完了した場合は補助金の対象になりません。

1 補助対象となる方（申請者）

- ✓ 市内の住宅に居住し、当該地に住民登録がある者
- ✓ 市税等の滞納がない世帯の方
- ✓ ※1住宅につき1回限りの補助となります。
- ✓ ※新築住宅への設置は対象外です。
- ✓ ※賃貸住宅の場合は、所有者（家主）の同意が必要です。



2 補助金額の計算方法

補助対象経費の 2/3 以内
※算出した額または各区分の「最大補助金額」のいずれか低い額を交付します。（100円未満の端数は切り捨て）
大規模地震後の通電再開時に発生する「通電火災」を防ぐため、揺れを感知して自動で電気を遮断する器具です。

分電盤タイプ（内蔵型・後付型）

補助上限額
最大 40,000 円



★ 対象規格（必須条件）

JWDS0007付2 規定品

分電盤に直接設置し、家全体の電気を感知して自動遮断するタイプです。電気工事店による設置工事が必要となります。
※新築住宅への設置は対象外となります。

簡易タイプ（コンセント型・ストラップ型等）

補助上限額
最大 14,000 円



★ 対象規格（必須条件）

消防防災製品等推奨証 交付品

既存のコンセントに差し込むタイプや、ブレーカーのレバーに重りを取り付けるタイプなど、工事不要で手軽に導入できる器具です。

申請から補助金受け取りまでの流れ（5ステップ）

■【青】申請者の手続き ■【橙】米子市の対応

1

申請者

事前申請

※購入・工事前

2

米子市

交付決定

決定通知の送付

3

申請者

設置・購入

器具の購入・施工

4

申請者

実績報告

設置写真・領収書

5

米子市

補助金交付

指定口座へ振込

申請に必要な提出書類一覧

① 事前申請時の提出書類（購入前）

- ・ 補助金等交付申請書
- ・ 事業計画書 及び 収支予算書
- ・ 住宅に設置予定の箇所の写真 または 図面
- ・ 補助事業に要する経費に係る見積書等の写し
- ・ ※賃貸住宅に設置する場合のみ：賃貸借契約書の写し

④ 実績報告時の提出書類（設置・支払後）

- ・ 補助事業等実績報告書
- ・ 事業報告書 及び 収支決算書
- ・ 住宅に設置した箇所の写真 または 図面
- ・ 位置図（住宅の場所が確認できる地図等）
- ・ 補助事業に要する経費に係る領収書等の写し

お問い合わせ・お申し込み先

米子市役所 防災安全課

所在地：米子市役所 本庁舎3階（〒683-8686 米子市加茂町1丁目1番地）

電話番号：0859-23-5328 / メール：bousai@city.yonago.lg.jp

市公式HP：https://www.city.yonago.lg.jp/bousai/



案内ホームページ

https://www.city.yonago.lg.jp/49166.htm

二次元コード：



感震 ブレーカー 有効

地震での建物火災>>約6割が電気火災

揺れを感知し、電気を自動遮断！

地震による建物火災の半数以上の原因が、電気機器からの出火や停電復旧後の通電で発生する「電気火災」です。防止対策に有効なのが、揺れを感知した際に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」。さまざまなタイプがあり、特徴を理解した上で設置しましょう。

分電盤タイプ (内蔵型)



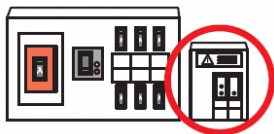
価格:5万～8万円

電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約2～3万円

分電盤タイプ (後付型)



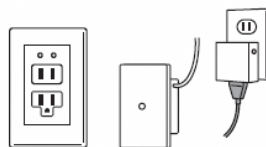
価格:約2万円

分電盤に感震機能を外付けするタイプ。センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約1万円

コンセント タイプ



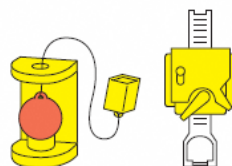
価格:5千～2万円

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断する。

電気工事が不要
※埋込型は必要

工事費:約8千円

簡易 タイプ



価格:2千～4千円

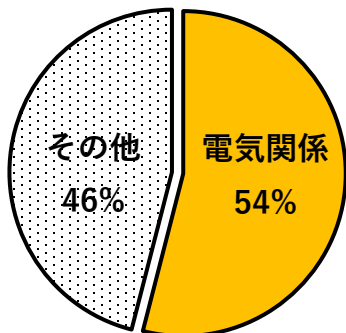
ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が不要

工事費不要

※電気工事費(概算)は目安であり、設置する建物等の状況により異なります。

東日本大震災時に
発生した火災原因



電気火災の例

- ◆ 家具の転倒により電気コードが損傷し、停電が復旧したことによりショートして着火
- ◆ 白熱灯などが転落・落下し、可燃物に着火
- ◆ 転倒・落下した可燃物が電気ストーブなどの電熱器具に接触し着火

※出典: 日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」



協議会HP



電気工事業
工業組合HP

鳥取県感震ブレーカー
普及協議会

●お問い合わせ先

事務局: 0857-26-7082 (鳥取県消防防災課)
電気工事の御相談: 0857-24-9213 (鳥取県電気工事業工業組合)